

ベナンボックス注用 300mg

【この薬は？】

販売名	ベナンボックス注用 300mg Benambax 300mg for Injection
一般名	ペンタミジンイセチオン酸塩 Pentamidine Isetionate
含有量 (1バイアル中)	ペンタミジンイセチオン酸塩として 300mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するとき特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、カリニ肺炎*治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、カリニ肺炎*の原因となるニューモシスチス・カリニ**のグルコース代謝及び蛋白質合成を抑制することなどにより、増殖を阻害します。
- ・次の目的で処方されます。

<適応症>

カリニ肺炎*

<適応菌種>

ニューモシスチス・カリニ**

※現在は、ニューモシスチス肺炎と呼ばれています。

※※現在は、ニューモシスチス・イロベチーと呼ばれています。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬により、重篤な低血圧（からだがだるい、ふらつき、立ちくらみ、力が入らない、めまい、頭が重い、頭の痛み）、低血糖（ふらつき、脱力感、冷や汗、めまい、頭痛、動悸、空腹感、手足のふるえ）及び不整脈（意識がなくなる、胸の痛み、胸部異和感、動悸、脈が速くなる、気を失う）があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にベナンバックス注用に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
 - ・ザルシタピンを使用中の人
 - ・ホスカルネットナトリウムを使用中の人
 - ・アミオダロン（注射剤）を使用中の人
- 重い呼吸の障害がある人では、この薬の吸入は行いません。
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・腎臓や肝臓に障害がある人
 - ・低血圧や高血圧の人
 - ・低血糖や高血糖の人
 - ・白血球減少、血小板減少、貧血の人
 - ・低カルシウム血症の人
 - ・高齢の人
- この薬には併用してはいけない薬 [ザルシタピン（ハイビッド）、ホスカルネットナトリウム（ホスカビル）、アミオダロン（アンカロン）（注射剤）] や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬の使用前に、血液検査、肝機能検査、腎機能検査、心電図検査などの検査が行われます。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射または吸入により投与されます。

●使用量および回数

使用量、使用回数、使用方法などは、あなたの年齢や症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において投与されます。

通常の使用量および回数は次のとおりです。

一回量	[注射の場合] 体重 1kg あたり、ペンタミジンイセチオン酸塩として 4mg [吸入の場合] ペンタミジンイセチオン酸塩として 300～600mg
使用回数	1 日 1 回

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用後や使用後も、血液検査、肝機能検査、腎機能検査、心電図検査

などの検査が行われます。

- ・この薬の使用時や使用期間中は重い低血圧（ふらつき、めまい）が起こることがあるので、これらの症状があらわれたらただちに受診して下さい。定期的に血圧の測定が行われます。
- ・この薬の使用期間中や使用終了後も、重い低血糖（冷や汗、めまい、手足のふるえ）、高血糖（からだがだるい、脱力感）、糖尿病が起こることがあるので、これらの症状があらわれたらただちに受診して下さい。血糖値の測定が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸、じんましん、判断力の低下
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群) ひふねんまくがんしょうこうぐん	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
錯乱 さくらん	意識が乱れる、意識の混乱、考えがまとまらない
幻覚 げんかく	実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる
急性腎不全 きゅうせいじんふぜん	からだがだるい、からだのむくみ、疲れやすい、意識の低下、頭痛、眼がはればつたい、息苦しい、尿がでない、尿量が減る
低血圧 ていけつあつ	からだがだるい、ふらつき、立ちくらみ、力が入らない、めまい、頭が重い、頭の痛み
QT延長 きゅうていえんちよう	動悸、気を失う
心室性不整脈	意識がなくなる、胸の痛み、胸部異和感、動悸、脈が

しんしつせいふせいみやく	速くなる、気を失う
高度徐脈 こうどじよみやく	めまい、意識の低下、考えがまとまらない、息切れ、脈がとぶ、脈が遅くなる、判断力の低下
低血糖 ていけつとう	ふらつき、脱力感、冷や汗、めまい、頭痛、動悸、空腹感、手足のふるえ
高血糖 こうけつとう	からだがだるい、脱力感
糖尿病 とうにようびょう	からだがだるい、体重が減る、のどの渇き、水を多く飲む、尿の量が増える
膵炎 すいえん	吐き気、嘔吐、胃・おなかの激しい痛み、背中痛み

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷や汗、からだがだるい、ふらつき、高熱、発熱、からだのむくみ、疲れやすい、立ちくらみ、力が入らない、脱力感、体重が減る
頭部	めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、意識の低下、意識が乱れる、意識の混乱、頭痛、頭が重い、頭の痛み、意識がなくなる
顔面	血の気が引く、ほてり
眼	眼と口唇のまわりのはれ、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、眼がはればいたい
口や喉	しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、のどの渇き、水を多く飲む、吐き気、嘔吐
胸部	息切れ、息苦しい、動悸、胸の痛み、胸部異和感、吐き気
腹部	食欲不振、空腹感、吐き気、胃・おなかの激しい痛み
背中	背中痛み
手・足	脈が速くなる、脈がとぶ、脈が遅くなる、手足のふるえ
皮膚	じんましん、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点
尿	尿がでない、尿量が減る、尿の量が増える
その他	判断力の低下、陰部の痛み、実際にはない物が見えたり聞こえたりするように感じる、気を失う

【この薬の形は？】

性状・剤形	白色の塊または粉末（注射剤）
形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ペンタミジンイセチオン酸塩
------	---------------

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：サノフィ株式会社 (<http://www.sanofi.co.jp>)

コールセンター くすり相談室

フリーダイヤル 0120-109-905

月～金 9:00～17:00（祝日・会社休日を除く）